

小諸高校進路指導室通信

NO.1

4月

それぞれの目標は決まりましたか？

4月中に第1回の進路希望調査を行います。まだ、決まっていない諸君は、取りあえず考える時間を作って下さい。その時、大事なのは、相談したり、聞いたり、調べてみること。なんとなく書いておこう、というのは感心しません。以下、それぞれの学年にアドバイスを書きます。

1学年

入学したばかりで、もう進路希望調査？と思う諸君もいるかもしれません。しかし、3年間というのはあつという間です。最初に、しっかりした進路目標を立て、その実現のために学習や課外活動に取り組むことは、とても大切なことです。すでに、目標を持っている諸君は、実現するためには何をすれば良いのかこれから調べて行きましょう。そして、何をすれば良いのか分かったら、さっそく毎日の生活の中で生かしていきましょう。まだ、考えてもいいやという諸君は、取りあえず、自分の夢を書いてもらえば結構です。その夢が実現できるかどうかは、問いません。中学生の頃から、密かに胸の中にしまってある夢は、きっと誰でも持っていると思います。その夢に一番近い分野を選んでみて下さい。そして、やはり、どうすれば実現できるのか調べて見て下さい。これから、半年後には、2年生に向けて普通科では文理選択があります。その時、迷わないように、これから数ヶ月の間に、調べ、考えて行きましょう。是非、早い内に一度進路指導室を訪ねて下さい。

2学年

すでに、文理選択も終え、いくつかの進路行事も体験して、かなり進路目標が固まってきた諸君も多いこと思います。今、大事なのは、決まった目標が3年まで変わることなく行けるかということです。3年になってから真剣に考えればいいや、本気出せばいいや、と思っている諸君はいませんか？はっきり言って、3年からでは遅いですよ。3年に入ると、早いものは夏休みくらいから試験が始まります。その時、焦らないように、もう今から具体的に準備を始めてほしいところです。理系、文系の選択だけで、学科などが具体的になっていない諸君も多いと思います。特に大学を目指している人に多い傾向かもしれません、学科分野についてはそんなに焦る必要はありません。まず、しっかりとし得意科目を作ること。それから苦手科目の克服を1年間で果たせるよう、学習に取り組んで下さい。分野については、得意科目、苦手科目でずいぶん左右されてしまいます。分野が定まっている諸君は、何を得意科目にしなければいけないか、どんな苦手科目があれば、試験で命取りになってしまいか、つかんでおきましょう。そして、その分野に進むための条件整備が大事なことです。上級学校のオープンキャンパスや就業体験が一番役に立つのが、2年生です。キャリア教育の一環で夏休み中に、体験学習をしてもらう予定になっていますが、それ以外にも、どんどん積極的にオープンキャンパスや進路相談会に参加し

て下さい。その都度、案内をして行きます。参加することで、漠然としていた進路希望が、明確になり、具体的な目標を定める良い機会になります。

3学年

いよいよ。進路本番の学年です。この2年間で進路希望は、かなり明確に決まってきたことだと思います。まだ、曖昧な人はいませんか？3年で進路方向がフラフラしてしまうのは、進路実現にとって大敵です。最悪、遅くとも夏休み明けの2回目の最終進路希望調査では、担任の先生にはっきり言えるようにしてほしいところです。特に、大学進学を考えている諸君に伝えておきたいことがあります。目標は高く持って下さい。そして、最後まで粘り強く、学習に取り組んで下さい。模試のE判定で腐る必要は、全然ありません。だって、諸君は本当に勉強して模試に臨みましたか。限界ぎりぎりまでやって模試に臨みましたか？それで、E判定だったらショックを受けてもいいと思います。恐らく、そうではないでしょう。クラブ活動が終わったところで、まず、一度、自分の本当にギリギリと思えるところまで勉強してみて下さい。それから、具体的な大学を考えたって、全然遅くはありません。それから、指定校を考えても遅くはありません。最初から、安易に指定校に頼らないこと。ただ、評定値が足りているから、場所が良いから程度の理由だけで選択するのは絶対やめましょう。目標を高く持ち、最後まで粘って、自分の目標を実現した先輩たちがたくさんいます。また、上級学校を希望している諸君、全員に当てはまるのですが、当然、進学先はお金がかかります。自分ひとりの力ではどうにもならないところです。およその希望進学先が決定してきたところで、早い内に入学金や授業料までしっかり確認して、お家人と相談しておいて下さい。

スタディーサポートや模試を最大限に活用しよう

模擬試験は受けっぱなしになってしまいませんか？点数の結果や判定を見て、ハイ終わりでは受験料をゴミ箱に捨てているようなものです。見直しをする時間を必ず取りましょう。模擬試験は、結果ではなく、自分の弱点を知ることに大きな意味があります。自分の弱いところ、改善すべきところが分かったら、そこを克服できるよう頑張ること。逆に、全部駄目でも、必ず良いところ、できたところがあるはずです。そこを足がかりにして、これから何を勉強して行けば良いかつかむこと。模試は反省材料です。反省を生かせば、必ず、次の結果に反映されます。その意味で、上手に模試結果を活用して行きましょう。模試を受けるのが楽しみになる。そこまで、行けば、もう合格したのと同じです。

